

# 令和 6 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学生 「特に優れた業績による返還免除」申請のしおり

「特に優れた業績による返還免除」は、当該年度に貸与が終了する大学院第一種奨学生の約 3 割を上限として、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者の奨学金の全額又は半額の返還を免除する制度です。

申請希望者は、以下に従って申請してください。

## 第 1. 対象者

- ・大学院第一種奨学生で、令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）に貸与が終了し、現在の課程の貸与期間中に特に優れた業績を挙げた学生

※ 令和 5 年度以降に博士課程第一種奨学生に採用された学生で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する以下の事業、プログラムの支援を受けた学生は返還免除の対象外となるため、申請できません。

- ・科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/utokyodoctorfellowship0001.html>

- ・次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）

[https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/spring\\_gx.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/spring_gx.html)

- ・国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（B00ST）次世代 AI 育成プログラム（博士後期課程学生支援）

<https://spring-gx.adm.s.u-tokyo.ac.jp/ja/boost/>

## 第 2. 申請の際の注意事項

1. 申請期間を過ぎた場合、いかなる理由があっても受理（受付）できません。

「申請可能な年度を誤って認識していた」「退学・辞退するか決まっていなかった」「留学中であった」等いかなる理由があっても、期限後は一切受け付けられません。

不明な点などあれば「第 7. 問い合わせ先」まで事前に相談してください。

2. 総合文化研究科以外の学生の申請は受付できません。所属している研究科に確認してください。

※ 数理科学研究科の学生は、数理科学研究科へ申請してください。

3. 返還免除内定者で令和 6 年度に貸与が終了する学生は、必ず今回の募集に申請してください。

本申請の審査結果により、免除額（全額又は半額免除）が決定されます。

4. 令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）に貸与が終了（満期（貸与期間・標準修業年限の終了）、短縮修了、辞退、退学等）する学生は、今回の募集にのみ申請が可能です。来年度以降は申請できません。

※ 以下に該当する学生も今回の募集にのみ申請が可能で、来年度以降の申請はできません。  
申請する場合は、1月13日（月・祝日）までに奨学金継続手続で「辞退」（「奨学金の継続を希望しません」）を入力してから、必ず申請期間内に申請してください。

- ・令和7年度日本学術振興会特別研究員採用\*に伴い奨学金を辞退する者
  - \* 補欠（合格）者の方は「第8．FAQ（よくある質問）」のQ8を確認してください。
- ・令和6年度中（令和7年3月含む）に退学・辞退する者
- ・奨学金継続手続で「奨学金の継続を希望しません」（辞退）を選択した者

5. 奨学金は修士課程と博士課程で別になります。

令和6年度に修士課程を修了することに伴い奨学金の貸与が終了し、博士課程進学後に引き続き第一種奨学金の貸与を希望する学生も、修士課程で貸与された奨学金の返還免除を希望する場合は、今回の募集にのみ申請が可能です。来年度以降は申請できません。

※ 博士課程進学後に引き続き奨学金の貸与を希望する場合は、進学後の4月に改めて新規で奨学金の申請が必要です。

6. 【博士課程のみ】業績優秀者として推薦できる者は、日本学生支援機構により「[博士課程の業績評価に関するガイドライン](#)」で指定されています。業績優秀者に該当するか確認のうえ、申請してください。

7. 記載されている「学籍（学生証）番号」は、全て学生証番号のハイフン無しの8桁を入力してください。

また、日本学生支援機構へ提出するため、「氏名」は全て日本学生支援機構奨学金で登録している「氏名」を入力してください。

※ 「業績を証明する資料」において記載されている氏名に、日本学生支援機構へ登録している氏名と異なっているものがある場合は、申請書の氏名欄に異なる氏名を（ ）書きで併せて入力してください。

### 第3．申請期間

**令和7年1月8日（水）～2月5日（水）**

※ 申請期間を過ぎた場合、いかなる理由があっても受理（受付）できません。

### 第4．申請方法

申請書類の電子データを下記手順に従ってアップロードしてください。

1. 申請書類の準備

以下の申請書類を拡張子にあった電子データで準備し、ファイル名を変更してください。

※ 準備する申請書類の詳細は、「第5．申請書類」で確認してください。

| 申請書類                                                             | 拡張子                                | ファイル名 ※数字は半角                                                      |
|------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| (1) 業績優秀者返還免除申請書(様式1)                                            | xlsx                               | 「学生証番号」+「氏名」+「申請書」<br>例：3123XXXX 東大太郎申請書.xlsx                     |
| (2) 業績を証明する資料<br>※資料ごとに必要項目と最大ページ数が設定されています。「第5. 申請書類」で確認してください。 | pdf、docx、<br>xlsx、pptx、<br>jpg、png | 「学生証番号」+「氏名」+「資料」<br>+「(申請書に記載の資料番号)」<br>例：3123XXXX 東大太郎資料1-1.pdf |

2. 上記(1)(2)のファイルを以下 URL にアップロードしてください。

アップロード URL :

<https://univtokyo.sharepoint.com/:f:/t/Teams.s-shikin.c/Ep6lqqqRm65KrSpPQRcw9r4Bei6FjZzyT4eLwEXn78TpnQ>

※ 申請書類を受信後、UTAS に登録されているメールアドレス宛に受領メールを送信します。アップロード後、土日・祝日を除き2日経ってもメールが届かない場合は、「第7. 問い合わせ先」にご連絡ください。

## 第5. 申請書類

### 1. 業績優秀者返還免除申請書(様式1)

#### (1) 申請書作成に関する注意事項

- ・申請書は全て申請者本人が入力してください。
- ・総合文化研究科ホームページ掲載の Excel ファイルを使用し、**xlsx 形式で提出**してください。
- ・ファイル名は「**学生証番号**」+「**氏名**」+「**申請書**」にしてください。  
例：3123XXXX 東大太郎申請書.xlsx
- ・申請書は3ページ以上になっても構いませんので、必要に応じて行を挿入してください。ただし、表の形式及び記入項目は変更しないでください。
- ・印刷した際に、入力した文字が全て表示されるように作成し、提出してください。  
※ Excel ファイルは、画面の表示と異なり、印刷時に行の後ろの文字が途中で切れることがありますので、印刷プレビューにて全て表示されるか確認してください。

#### (2) 記入欄の入力方法について

- ①「**西暦 年 月 日**」は、申請年月日を入力してください。
- ②「**氏名(フリガナ)**」
  - ・日本学生支援機構に登録している氏名と同じ氏名で入力してください。
  - ・日本学生支援機構に登録している氏名と「業績を証明する資料」の氏名が異なるものがある場合は( )書きで、異なる氏名を入力してください。
- ③「**課程**」
  - ・該当する課程を「■」にしてください。

④「研究科名・専攻名」

- ・「総合文化研究科・●●専攻」と入力してください。（「総合文化研究科・広域科学専攻」など）
- ・広域科学専攻の「●●科学系」の入力は不要です。

⑤「学籍番号」（学生証番号 8 桁・ハイフン無し）、「奨学生番号」（11 桁）、「生年月日（西暦）」をそれぞれ入力してください。

⑥返還免除内定者は「上記で選択した課程において、内定者として認定されている。」を「■」にしてください。

⑦「大学院における研究課題等」の「概要」欄

- ・大学院における研究課題等の「題目」と「概要」を枠内に入力してください。

⑧「業績の種類」

- ・入力例を参考に入力してください。
- ・入力できる業績は、免除を申請する奨学金の貸与を受けていた期間に限ります。博士課程の奨学金返還免除申請に修士課程で挙げた業績を挙げることはできません。
- ・入力した業績は、以下の「2. 業績を証明する資料」の提出が必須です。提出できない場合は、業績として入力できません。
- ・業績は専攻分野に関連しているものに限ります。関連していない業績は申請できません。

⑨「資料番号」

- ・資料番号は「業績の種類」欄の左側に記載されている【業績項番】としてください。  
項番の業績が複数ある場合には【業績項番】－【枝番】としてください。

|                    |   |        |     |
|--------------------|---|--------|-----|
| （例）「1 学位論文その他研究論文」 | → | 学位論文   | 1-1 |
|                    | → | 研究論文   | 1-2 |
|                    | → | 学会の発表① | 1-3 |
|                    | → | 学会の発表② | 1-4 |
| 「6 授業科目の成績」        | → | 成績証明書  | 6   |

## 2. 業績を証明する資料

(1) 業績を証明する資料に関する注意事項

- ・「業績優秀者返還免除申請書（様式 1）」に入力した「業績を証明する資料」を必ず提出してください。  
「業績を証明する資料」の提出がない場合、業績として認められません。（「様式 1」に業績として入力できません。）
- ・資料は、資料 1-1、資料 1-2、資料 6 などの資料番号ごとに 1 つのファイルとなるよう電子データ（pdf、docx、xlsx、pptx、jpg、png）で作成してください。
- ・ファイル名は「学生証番号」＋「氏名」＋「資料」＋「（申請書に記載の資料番号）」にしてください。  
例：3122XXXX 東大太郎資料 1-1. pdf
- ・ファイルのページ数は、A4 で印刷した際のページ数で数えてください。web ページを 1 枚の縦長の PDF にするなど、A4 で印刷すると文字が読めないようなファイルにはしないでください。
- ・用意する資料は、記載されている事項以外に指定はありません。記載事項以外については、提出した書類がそのまま審査資料になる（入力の仕方や提出する資料を選ぶ、まとめることも含めて審査となる）ことを踏まえて、ご自身で考えて準備してください。

(2) 資料の必要項目・最大ページ数等

- ・ **業績の種類ごとに最大ページ数、細目、必要項目、典型的な資料、よくある不備を以下の表で確認**して提出してください。
- ・ 提出する際は**最大ページ数内で必要項目が全て含まれていることを確認**してください。

(例1) 学位論文の場合

典型的な資料：学位論文の冒頭

必要な項目：①申請者の姓名、②論文タイトル、③論文内容の概要（本文の書き出しの部分）

最大ページ数：上記の必要な項目が含まれる資料4ページ以内

(例2) 学会での発表の場合

典型的な資料：学会のプログラム表紙とタイムテーブル及び表彰状

必要な項目：①申請者の姓名、②題目、③会議名、④発表年、⑤【表彰・受賞がある場合のみ】  
賞の名前（優秀賞）が含まれる資料

最大ページ数：上記の必要な項目が含まれる資料4ページ以内

(例3) 著書の場合

典型的な資料：著書の表紙と奥付と申請者が執筆した本文のページ

必要な項目：①申請者の姓名、②著書のタイトル、③申請者が執筆、作成した文章の要約、④発行年

最大ページ数：上記の必要な項目が含まれる資料3ページ以内

(例4) 発明の場合

典型的な資料：特許証

必要な項目：①申請者の姓名、②特許等の出願番号、③特許等の出願日あるいは登録日、④特許等の登録時に付与される番号

最大ページ数：上記の必要な項目が含まれる資料3ページ以内

【資料の必要項目及びページ数】

| 業績の種類                  | 最大ページ数   | 細目   | 必要項目<br>(○付数字の項目は必須項目)                                                                                  | 典型的な資料                                    | よくある不備                     |
|------------------------|----------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------|
| 1. 学位論文<br>その他<br>研究論文 | <b>4</b> | 学位論文 | ① <u>申請者の姓名</u> （姓のみは不可）<br>② <u>論文タイトル</u><br>③ <u>論文内容の概要</u> （以下のいずれかを含む）<br>・ 本文の冒頭（書き出し）部分<br>・ 要約 | ・ 学位論文の表紙及び冒頭（書き出し）のページ<br>※ 学位授与証明書は提出不要 | ・ 論文内容の概要（冒頭又は要約）が添付されていない |

| 業績の種類                 | 最大ページ数 | 細目                                      | 必要項目<br>(○付数字の項目は必須項目)                                                                                                                                                                                                                | 典型的な資料                    | よくある不備             |
|-----------------------|--------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| 1. 学位論文その他研究論文        | 4      | 研究論文                                    | ① <b>申請者の姓名</b> (姓のみは不可)<br>※共著の場合、申請者の姓名に下線を引く、囲む等してください<br>② <b>論文タイトル</b><br>③ <b>発表年</b> (月日は無くても可)<br>④ <b>論文内容の概要</b> (以下のいずれかを含む)<br>・本文の冒頭(書き出し)部分<br>・要約<br>【査読付きの場合のみ必要】<br>⑤ <b>学術雑誌等名</b><br>⑥ <b>学術雑誌等発行年</b> (月日は無くても可) | ・論文の最初のページ及び学術雑誌の表紙・目次    | ・学術雑誌等名、発行年が確認できない |
|                       |        | 学会での発表                                  | ① <b>申請者の姓名</b> (姓のみは不可)<br>※共同発表の場合、申請者の姓名に下線を引く、囲む等してください<br>② <b>題目</b><br>③ <b>会議名</b><br>④ <b>発表年</b> (月日は無くても可)<br>【表彰・受賞がある場合のみ必要】<br>⑤ <b>表彰・受賞等</b> (以下のいずれかを含む)<br>・賞の名前(優秀賞等)<br>・順位<br>・その他優秀であった旨<br>・奨学金・外部資金を獲得した旨     | ・学会のプログラムの表紙とタイムテーブル及び表彰状 | ・発表年、表彰・受賞等が確認できない |
|                       |        | 日本学術振興会特別研究員に採用、又は、民間財団等が公募している競争的資金を獲得 | ① <b>申請者の姓名</b> (姓のみは不可)<br>② <b>年度</b> (月日は無くても可)<br>③ <b>以下のいずれか</b><br>・日本学術振興会特別研究員採用の旨<br>・獲得した競争的資金の名称                                                                                                                          | ・特別研究員審査結果通知書             | ・競争的資金獲得情報が確認できない  |
| 2. 大学院設置基準第16条に定める・・・ |        |                                         | 総合文化研究科では対象外の項目                                                                                                                                                                                                                       |                           |                    |

| 業績の種類                   | 最大ページ数   | 細目 | 必要項目<br>(○付数字の項目は必須項目)                                                                                                                                                                                   | 典型的な資料                                                 | よくある不備                                                             |
|-------------------------|----------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 3. 大学院設置基準第16条の2に定める・・・ |          |    | 総合文化研究科では対象外の項目                                                                                                                                                                                          |                                                        |                                                                    |
| 4. 著書、データベースその他著作物*     | <u>3</u> | －  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>著書、データベース等のタイトル</u><br>③ <u>以下のいずれか</u><br>・申請者が執筆、作成した文章・データの一部<br>・申請者が執筆、作成した文章・データの要約<br>④ <u>発行年</u> (月日は無くても可)                                                    | ・著書の表紙と奥付及び申請者が執筆した本文のページ<br>・データ集及びデータ集が掲載されているサイトの画面 | ・専攻分野との関連が確認できない<br>・発行年が確認できない<br>・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない |
| 5. 発明*                  | <u>3</u> | －  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>特許等の出願番号</u><br>③ <u>特許等の出願日あるいは登録日</u><br>④ <u>特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号</u>                                                                                              | ・出願中の場合、特許願<br>・登録済の場合、特許証                             | ・資料の添付がない<br>・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない                       |
| 6. 授業科目の成績*             | <u>2</u> | －  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>成績の詳細</u> (以下のいずれかを含む。ただし、学内成績に関する資料は以下の1点目あるいは2点目のみ提出可能)<br>・各授業の評価 (A～F、優など)<br>・授業成績が全体の上位 X%であること<br>・外部試験に合格したことが分かるもの<br>・外部試験の得点が分かるもの<br>④ <u>年度</u> (月日は無くても可) | ・所属する大学の成績証明書                                          | ・資料の添付がない                                                          |
| 7. 研究又は教育に係る補助業務の実績*    | <u>3</u> | －  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>研究プロジェクト名あるいは授業名</u> (専攻分野と関連が確認できる程度)<br>③ <u>年度</u> (月日は無くても可)                                                                                                        | ・勤務状況報告書                                               | ・専攻分野との関連が確認できない                                                   |

| 業績の種類                       | 最大ページ数   | 細目 | 必要項目<br>(○付数字の項目は必須項目)                                                                                                        | 典型的な資料                            | よくある不備                                                       |
|-----------------------------|----------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 8. 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績* | <u>3</u> | -  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>発表会名</u><br>③ <u>年度</u> (月日は無くても可)<br>④ <u>成績</u> (以下のいずれかを含む)<br>・賞の名称<br>・順位<br>・優秀であった旨   | ・発表会のプログラム及び表彰状                   | ・成績が確認できない<br>・専攻分野との関連が確認できない                               |
| 9. スポーツの競技会における成績*          | <u>3</u> | -  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>競技会名</u><br>③ <u>年度</u> (月日は無くても可)<br>④ <u>成績</u> (以下のいずれかを含む)<br>・賞の名称<br>・順位<br>・優秀であった旨   | ・競技会のプログラム及び表彰状                   | ・申請者名が確認できない<br>・専攻分野との関連が確認できない                             |
| 10. ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績*  | <u>3</u> | -  | ① <u>申請者の姓名</u> (姓のみは不可)<br>② <u>イベント等の名称</u> (専攻分野との関連が確認できる程度)<br>③ <u>年度</u> (月日は無くても可)<br>※申請者の参加が確認できない資料 (写真や新聞記事) は不可。 | ・イベントのプログラム及び参加を依頼されたことが分かるメールの文面 | ・申請者が活動において実際に行った内容が読み取れない<br>・組織名・団体名し記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない |

\*業績の種類 4～10 については、特に専攻分野に関連した業績であることを確認してください。課外活動など専攻分野に関連していないものは業績とはできません。

## 第 6. 結果の通知、その他

- ・免除認定者は、日本学生支援機構の業績優秀者免除認定委員会の審議を経て決定されます。認定（選考）結果は、7 月下旬頃に日本学生支援機構又は本学から各申請者に通知します。日本学生支援機構からの通知はスカラネット・パーソナルの登録住所、本学からの通知は UTAS の登録住所へ郵送予定です。住所や電話番号に変更がある場合は、UTAS の登録を変更のうえ、貸与終了後にスカラネット・パーソナルの登録を合わせて変更してください。
- ・認定はリレー口座の加入手続きが条件となりますので、手続きを必ず行ってください。  
なお、満期を除き、貸与が終了する翌月以降に日本学生支援機構で貸与終了の処理が行われるため、令和 7 年 3 月辞退の場合、リレー口座の加入手続きのお知らせは 5 月頃となります。
- ・認定結果が判明するまで、全額又は一部繰上返還は行わないでください。



## 第7. 問い合わせ先

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学教養学部等学生支援課奨学資金チーム

駒場キャンパス・アドミニストレーション棟 1 階 7 番窓口

窓口時間：10:00～12:30, 13:30～16:00 ※土・日・祝日及び 1/17 除く

TEL：03-5454-6075, 6076

E-mail：s-shikin.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

## 第8. FAQ（よくある質問）

Q1：申請資格を教えてください。

A1：申請資格があるのは、当該年度に満期、辞退、退学などにより第一種奨学金の貸与が終了した大学院生です。貸与が終了した年度以外で申請することはできません。

申請を希望する場合は、必ず申請期間内に申請してください。期日を過ぎるといかなる理由があっても受理（受付）できませんので、注意してください。

※ 日本学術振興会特別研究員の補欠（合格）者の方は、Q8を確認してください。

令和 6（2024）年度に申請が必要な（申請資格がある）例

1) 令和 5（2023）年 4 月 修士課程入学（奨学金の貸与開始）

令和 7（2025）年 3 月 修士課程修了（奨学金の貸与終了）

2) 令和 5（2023）年 4 月 博士課程入学（奨学金の貸与開始）

令和 7（2025）年 3 月 奨学金の貸与を辞退し、引き続き在学

令和 8（2026）年 3 月 博士課程修了予定

令和 6（2024）年度に申請資格がない例

・ 令和 5（2023）年 4 月 修士課程入学（奨学金の貸与開始）

令和 6（2024）年 3 月 奨学金の貸与を辞退

令和 7（2025）年 3 月 修士課程修了

申請年度は令和 5 年度です。

Q2：学部学生の奨学金の申請はできるか。また、第二種奨学金の申請はできるか。

A2：どちらも申請できません。大学院の第一種奨学金のみが対象です。

Q3：年末年始で行う継続手続きで、4 月からの「奨学金の継続を希望しません」を選択した場合、申請資格があるか。

A3：当該年度に辞退したこととなりますので、当該年度の申請受付期間内に申請してください。

※ 令和 6（2024）年度の継続手続きで、「継続を希望しません」を選択した場合

→ 今年度（令和 6（2024）年度）申請必要、来年度（令和 7（2025）年度）は申請できません。

Q4：修士課程から博士課程に進学する場合、修士課程で貸与された奨学金に対する返還免除申請はいつか。

A4：修士課程の【貸与が終了した年度】の申請受付期間内で申請してください。

※ 修士課程で奨学金の貸与 → 修士課程の貸与終了（辞退）年度に申請してください。

博士課程で奨学金の貸与 → 博士課程の貸与終了（辞退）年度に申請してください。

---

Q5：修士課程（博士課程）1 年次に奨学金の貸与を辞退し、引き続き在学している場合、申請年度はいつか。

A5：【貸与が終了した年度】の申請受付期間内で申請してください。

年度途中に貸与を辞退する場合は、当該年度しか申請資格がありませんので、希望者は必ず当該年度の申請受付期間内に申請ください。選考の対象となる業績は、奨学金の貸与期間中に挙げた業績となります。貸与終了（辞退）後の在学中に挙げた業績は選考の対象にはなりません。

なお、申請受付最終日（令和 6 年度最終受付日：令和 7 年 2 月 5 日）を過ぎて、辞退手続きを行った場合は、返還免除申請を遡って行うことはできません。

---

Q6：業績評価の対象となる期間は、いつか。

A6：業績評価の対象期間は、在籍している課程で「奨学金の貸与を受けていた期間」です。

在籍課程の途中で辞退（採用）した場合は、貸与期間以外の業績は評価対象外です（貸与開始月～貸与終了月までの業績が対象）。

---

Q7：修士課程（博士課程）1 年次に奨学金の貸与を受けず、2 年次で奨学生となった場合で、1 年次の業績を含めて申請することは可能か。

A7：業績評価の対象期間は、「奨学金の貸与を受けていた期間」となりますので、1 年次の業績を含めて申請することはできません（貸与開始月～貸与終了月までの業績が対象）。

---

Q8：日本学術振興会特別研究員の補欠（合格）者は、申請できるか。

A8：申請可能です。

補欠（合格）者で返還免除申請を希望する場合(\*)は、採否に関わらず、必ず当該年度の申請受付期間内に申請してください。なお、最終的な採否結果を待ってからの申請は、選考の都合上、いかなる理由があっても受理（受付）できません。

\* 補欠（合格）者は、奨学金辞退の手続きはしないで、奨学金継続手続きにて「奨学金の継続を希望します」を選択のうえ、継続の手続きを行ったうえで、申請してください。

日本学術振興会特別研究員の採否結果に伴い以下の取り扱いとなります。

1. 特別研究員に採用された場合

奨学金の貸与辞退届を提出し、返還免除選考の対象者となります。

2. 特別研究員に不採用だった場合

奨学金の貸与が継続となるため、返還免除の申請は取り下げさせていただきます。

---

Q9：休学により奨学金の貸与を休止中ですが、休止期間中の業績を含めて申請可能ですか。

A9：休学・留学に伴う貸与休止期間も貸与期間に含まれますので、当該期間の業績を含め申請してください。

---

Q10：令和 6 年度の業績優秀者返還免除制度の申請を希望していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により研究計画が遅れ、貸与期間中に業績を挙げるができなかった。コロナによる特別な対応はあるか。

A10：新型コロナウイルスの影響による免除申請期間延長は、一昨年度をもって終了したため、特別な対応は

ありません。今年度貸与が終了し、申請を希望する場合は、必ず今回の申請期間内に申請してください。  
来年度以降の申請はできません。

---

Q11：令和 5 年度に博士課程第一種奨学生に採用され、令和 6 年度に SPRING-GX へ採用されました。SPRING-GX 採用前の期間の奨学金について、返還免除の申請はできますか？

A11：SPRING-GX は、科学技術振興機構（JST）が実施する「次世代研究者挑戦的プログラム（SPRING）」に当たり、令和 5 年度以降に博士課程第一種奨学生に採用された学生は、支援期間にかかわらず支援を受けた場合、返還免除の対象外となります。そのため、SPRING-GX 採用前に貸与された奨学金についても返還免除の申請はできません。

---